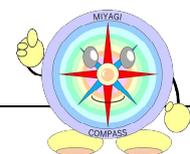


学習指導案づくりの20の視点



学習指導案の項目	視点の内容
単元（題材）名	視点① 活動がイメージしやすく、主体的に取り組みたくなる表現である。
単元（題材）設定の理由	
・児童（生徒）観	視点② 個別の指導計画とこれまでの学習状況を基に考えている。 視点③ 単元（題材）に対する児童生徒の興味・関心、発達段階、生活経験を分かりやすく書いている。
・単元（題材）観	視点④ 単元（題材）を通して、児童生徒に <u>どのような力を身に付けさせたか</u> に着目している。 視点⑤ <u>学習指導要領の「各教科の目標及び内容」</u> を押さえている。
・指導観	視点⑥ 児童生徒の学習上の特性を踏まえた指導の方針・手立てが分かる。 例：単元構成の工夫、教材・教具の工夫、学習形態の工夫、評価方法の工夫
単元（題材）の目標 単元（題材）の個別の目標	視点⑦ <u>「育成を目指す資質・能力」</u> が明確である。
単元（題材）の評価規準 単元（題材）の個別の評価規準	視点⑧ <u>「育成を目指す資質・能力」</u> に対する到達状況が具体的である。
単元（題材）の指導と 評価の計画・評価方法	視点⑨ 単元（題材）の目標を達成するための、評価の計画が明確に位置付けられている。 視点⑩ <u>扱う教科の内容</u> が明確に示されている。（主に各教科等を合わせた指導の場合）
本時の指導	
・本時の目標	視点⑪ 「単元（題材）の目標」から絞り込んだ内容になっている。
・本時の指導に当たって	（ 視点⑥ 児童生徒の学習上の特性を踏まえた指導の方針・手立てが分かる。）
・本時における個別の実態と 目標及び評価規準	視点⑫ 個別の実態は、できること・できそうなことに注目し、本時の指導につながる観点で具体的である。 視点⑬ 個別の目標は、 <u>どのような力を身に付けさせたいか</u> が具体的である。 視点⑭ 個別の目標を達成するための手立てが具体的である。
・指導過程	視点⑮ 教師の動きやT・T間の役割が明確である。 視点⑯ 授業全体の流れが分かり、中心的な学習活動が明確である。 視点⑰ <u>「育成を目指す資質・能力」</u> が身に付くために、 <u>「主体的・対話的で深い学び」</u> の視点で指導や支援を考えている。
・本時の評価	視点⑱ 「本時の目標」に対する到達点を具体的に押さえている。
・準備物	視点⑲ 教材・教具の工夫や使い方が具体的である。
・場の設定	視点⑳ 図や写真を用いて、イメージしやすいように示されている。

※学習指導案の様式に合わせて、必要に応じてご活用ください。